

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
武庫川女子大学薬学部健康生命薬科学科では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次の資質・能力を身につけた者に対して、卒業を認定し学士（薬科学）の学位を授与します。			武庫川女子大学薬学部健康生命薬科学科では、本学科の定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。 高度な薬学的知識と科学的思考力を身につけ、教養科目・語学教育科目・基礎科学科目に続いて、薬科学の専門的な知識・技能を習得するために、卒業後の多様な職種への進路を見据えた基盤となる履修モデルコースを提供し、これに準拠した科目編成を実施します。			武庫川女子大学薬学部健康生命薬科学科では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する女性の入学を受け入れます。		
武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目			MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目			武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	多様化・複雑化する社会を理解するための幅広い教養、語学・ライティング力、デジタル社会における基盤的リテラシーを身につけており、併せて健康や生命に直接関わる医療や薬科学研究に携わるに相応しい豊かな社会性・人間性を備えている。	1) おもに1～2年次は、初年次教育を重視し、教養教育科目・基礎的科学的学力と語学力および薬科学の基礎を学び、卒業後の進路への志向と学修意欲の向上を図ります。 2) おもに1～2年次は、講義科目に加えて、実験・実習で専門分野の研究者・技術者に求められる技能も習得し、研究における展開力を養います。さらにキャリア形成につながる知識を身につけます。	知識	社会を理解し、薬科学に関する専門性を身につけるために必要な基礎学力を有している。	
	2	“生きること”につながる専門性	2	薬科学領域に関する深い専門的知識を備えている。			科学的な思考力をもって問題解決に取り組む能力を有している。	
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	人と共感する姿勢とともに、次世代を担う薬科学研究者としての責任感と社会に貢献する意識をもち、健康や生命に関する法令遵守の必要性を理解している。	3) おもに2～3年次は、モデルコースに準拠した専門科目を学習することにより、薬科学について高度な専門的知識を修得し、研究テーマを選択するための基盤を養います。 4) 3～4年次は、研究室での研究を通して、選択した専門分野の研究者・技術者に求められる知識・技能・態度を習得し、研究における展開力をさらに養います。 5) 教育課程全般を通じて外国語を学習することにより、外国語によるコミュニケーションならびにプレゼンテーションを円滑に進めるための基盤を養います。 教育課程全般を通じて、演習、実習、双方向性のアクティブラーニングを取り入れた教育方法を活用し、学生の理解を深めます。	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。	
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	健康や医療における課題を主体的に探求し、未知の領域に挑戦する姿勢を備えている。			主体性と協調性をもって研究に取り組み、研究成果を通して社会に貢献したいという意志がある。 研究者や医療人として必要な知識や技能を修得するための積極的な学修姿勢を有している。 中学・高等学校の理科教員として、後継者育成活動に寄与したいという意志がある。	
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	社会の変化に対応し、薬科学研究を推進するため、新たな課題や困難の克服に柔軟に取り組み、真摯に学び続ける姿勢を備えている。				
行動	6	論理的に考え伝える力	6	科学的根拠に基づいた論理的思考力を有しており、薬科学領域において自らの行動・思考により得られた発見を相手に伝える能力を備えている。	また、教育課程の評価については、卒業年次に提出する卒業研究論文をもって、教育課程に通じた学修成果の総括的評価を行います。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。	
	7	新たな価値を創造する力	7	薬科学領域における知識・技能から、社会が必要とする新しい発想を生み出し、その発想を形にする意欲と能力を備えている。				
	8	多様な人々と協働する力	8	薬学研究や医療に関わる際に必要となる、多職種の人々と協働するためのコミュニケーション能力を備えている。			能動的な学習態度を身につけており、自己研鑽を継続できる。 他者の価値観を尊重し、良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力と表現力を有している。	